



# 学校訪問

部活動

学校自慢



## 南千住第二中学校

南千住7-25-1

生徒が部活動を紹介します  
フラワーアレンジメント部

▲同じ材料でも個性が表れます ▲天王祭に出展しました

私たちの学校は、全校児童の仲のよさです。第三峡田小学校は、全校で133人です。他の学校と比べると人数はとも少ないですが、学年を問わず、中休みなどに仲よく遊んでいきます。たてわり班活動では、ドッジボールなどのルールを教え合っています。全校遠給食を食べています。全校遠足では、たてわり班でオリエンテーリングをして、他の学年の人とも仲がよくなりました。

## 第三峡田小学校

荒川1-43-1

学校の自慢を児童が紹介します



▲たてわり班遊び



▲全校遠足

2つ目は、地域の方とのふれあいが多いことです。「地域の方と遊ぶ会」や「ふれあい給食」などの行事があります。その中でも、毎年行っています。

私たちが3年生は、あと少しで引退ですが、より綺麗な美しい作品を作れるよう、一回一回を大切に活動していきたいです。私たちの作品により、1人でも多くの人が花の良さ、美しさを感じてくれたら、と願っています。



▲真剣にお花と向き合っています

私たちが南千住第二中学校フラワーアレンジメント部は、1年生7人、2年生4人、3年生5人の計16人で活動しています。月に1、2回、主に木曜日に、皆同じ種類の花を用い、テーマを決め、仲良くおしゃべりしながら活けています。同じ種類の花を使っても、一人ひとりの個性が作品に表れるので、花のいろいろな表情を見ることができ、その中でも楽しく、この部の良さだと思っています。



▲地域の方と遊ぶ会

「地域の方と遊ぶ会」には、第三峡田小学校を卒業した方や、同じ地域に住んでいる方が参加してください。この行事では、地域の方との交流の他に昔の遊びを知ることのできる、みんながこの行事を楽しみにしています。

第37回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会、小学生の部で第二瑞光小学校6年の三浦太郎くんが優勝。8月25日、優勝カップと賞状を手に、西川区長を訪問しました。

二瑞小6年・三浦太郎くんが囲碁全国大会で優勝!



▲優勝カップを手に笑顔の三浦くんと西川区長

## 14年連続! 尾久八幡中卓球部が全国大会出場

8月19日、尾久八幡中学校卓球部が、全国中学校卓球大会の出場を決め、大会での活躍を期待して壮行会が開かれました。尾久八幡中卓球部は東京都代表として「第44回関東中学校卓球大会」に出場し、全国大会への切符をつかみました。

壮行会で西川区長は、「私も含め、21万人の区民の方の多くが応援しています」と激励の言葉を贈りました。また、卓球部男女主将は、「区の代表として、全国に尾久八幡中学校の名を轟かせてきます」と意気込みを語りました。

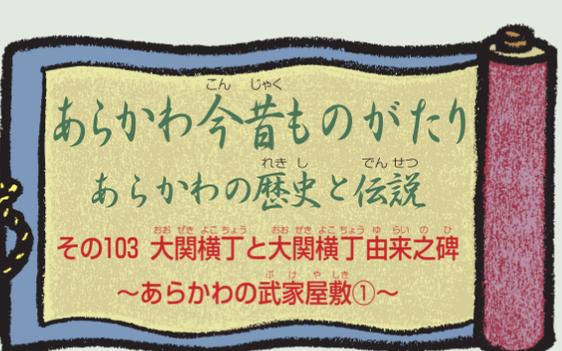


▲区役所を訪れていた方からも温かい拍手が贈られました

大関横丁の由来は? 「大関横丁」という交差点名を知っているかい? 明治通りと国道4号線が交差する大きな交差点だね。じゃあ、その名前の由来は何だと思おう? 何々、有名なお相撲さんが近くに住んでいた? 食べ物屋や居酒屋が並んでいたんじゃないかって。いろいろ推理してくれただけ残念ながら、いずれも不正解。答えはね、

大関屋敷は、寛文元年(1661)に幕府から下屋敷として頂いたもので、南千住一丁目1-8、10・11番付近と言われている。その後買った土地を合わせると、広さ8100坪(約26700

六瑞は大関屋敷だった。大関屋敷は、寛文元年(1661)に幕府から下屋敷として頂いたもので、南千住一丁目1-8、10・11番付近と言われている。その後買った土地を合わせると、広さ8100坪(約26700



大関さんの家来と芭蕉さん。大関さんは、下野国黒羽藩(栃木県)の大名だ。黒羽は、奥の細道の旅で松尾芭蕉が最も長く滞在したことで知られている。実は大関さんの家来の浄法寺桃雪と鹿子畑翠桃兄弟は芭蕉さんの弟子だった。黒羽に立ち寄った時、この2人から大歓迎を受けたと「おくのほそ道」に書かれているよ。黒羽藩と荒川区とは、屋敷だけでなく、芭蕉さんを通して繋がっていたんだね。

三ノ輪の殿様増業さん。昔の絵図面を見ると屋敷の中の様子が見える。大関さんが過ごした書院、お茶の先生の控室、家来の長屋、馬小屋等のほか、りっぱなお庭もあったんだよ。特に、大関屋敷の主人として地元の人びとに尊敬されていたのが、11代藩主の大関増業さん。増業さんは、藩主を退いて御隠居さんになってから、ずっと三ノ輪に住んで、大好きな研究に励んでいたんだ。その分野は広く、日本最初の歴史書「日本書紀」から、鎧兜等の製造法、科学、医学、弓道、茶道

問合せ 荒川ふるさと文化館 (3807)9234

